

第4章 計画推進のためのリーディング事業

4-1 生活に潤いと安心をもたらす緑の保全（持続可能な緑の保全）



1) パークマネジメント「ビーチの国際環境認証ブルーフラッグ」の発展と 持続可能なビーチの保全・活用事業



ビーチを地域共通の大切なオープンスペースと捉え、ビーチの国際環境認証ブルーフラッグの認証制度を活かした「水質」「安全とサービス」「環境教育と情報」「環境マネジメント」事業を先導的に推進する。

2) 市街地に隣接する農地の保全・活用事業



市街地と隣接する農地は、ビーチと同様に地域環境を保全する重要な緑地であることから農地を運営する農家・営農組合の活動を支援するとともに、子ども達が農地や里山での体験活動ができるよう、学校や公民館等との横断的な連携を強化していく。

3) 市街地と農地・海をつなぐ



エコビレッジ（スマートタウン）事業：高浜エリア

都市計画区域内で大きな農地がかるうじて残る菌部エリア。市街地と農地との緩衝帯として重要な緑地を提供している。近年道路も通り、開発が進みつつあることから、無秩序な開発が進まないよう、また高浜町内のスマートエネルギーモデルエリア「エコビレッジ（スマートタウン）」となるよう地域計画等を作成し、推進していく。また、若宮など海沿いの低未利用地も海と共にあるエコビレッジとしての魅力があることから検討を進めていく。

4-2 緑を活かした子育て環境の充実（緑の活用）



（城山公園再整備イメージ模型）

1) 保育所とつながる公園：（仮称）高浜公園



菌部への高浜保育所の移転に伴い、幼少期の子どもが自発的に屋外活動を楽しみ、自然を通じた豊かな心を育めるような自由度のある遊び場公園（街区公園）を併設し、子育て環境の充実を図る。

2) 公民館とつながる公園：（仮称）和田公園



和田地区の中核となる児童公園（街区公園）として、和田公民館と併設する敷地に町民参加型での公園を整備し、子どもから高齢者までが交流し、多世代で子育てを見守る環境づくりを推進する。

3) 「新しく上質な、1ランク上の体験」



を提供する場：城山公園の再整備

「明るく爽やかな美しい海で、自分らしく遊び、クリエイティブに暮らせるところ」という高浜のライフスタイルのシンボルとなるような公園づくりを進め、自然を活かしたクリエイティブな子育て環境を整えていく。

4) 協働による青の里



百年の森プロジェクト：脇坂公園

青葉山から若狭湾につながる里海・里山の健康・体験フィールドとして再整備を進め、地域から愛される公園運営に取り組む。

4-3 町民参加による花と緑のまちづくり（緑の育成）



1) 花と緑のまちづくり住民事業の育成



花苗づくり、花壇の運営、芝桜（展望広場）、オープンガーデンなど、花と緑を通じたまちづくり活動を推進し、住民主体の活動を応援していく。

2) 地域主体の公園運営の推進



（横津海区、西三松区、中寄区等）

公園や広場を整備する場合は、地区と協働で計画づくりを進め、広場や公園の管理・運営について地区が主体となりパークマネジメントを実施できるよう推進していく。

3) パークマネジメント機運の醸成



新しく整備する公園、高浜の財産となるビーチや青葉山など、パークマネジメントをすでに実践している場所を含め、より一層地域資源が活用され、自由に豊かな遊びや多様な体験ができるように、パークマネジメント機運を醸成していく。